

教科名	国語	科目	国語	授業時間	3時間
-----	----	----	----	------	-----

1. 教科書および副教材・参考書

教科書：「新しい国語 2」（東京書籍）

副教材：「新しい国語 新出漢字の学習 2」（東京書籍）

：「国語の学習 2」（東京書籍）

：「国語便覧 千葉県版（デジタル版）」（浜島書店）

問題集：「練成テキスト 中2国語」（育伸社）

2. 授業の目標および内容

「読む」という言語活動を総合的に行い、周辺知識を蓄えながら、主体的な言語の手引きとして自覚を持たせることにより、より豊かな人格形成を目指します。また、古典文学作品に触れることで、日本の言語文化に対する理解を深めます。その前提として、読解力の基礎となる語彙力や知見を養成するために、各種の小テストを行います。

3. 試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月

※内容・難易度について

① 定期試験：教科書・副教材・問題集・プリントなどで、問題を作成します。

4. 課題・補習について

夏期休業中の課題は、問題集や、作文、読書感想文の提出などです。

5. 評価の視点

定期試験を元に、小テスト、ノート提出などを参考に平常点として、加点または減点して評価をします。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	①短歌を楽しむ ①手紙の効用 ①未来へ ①文章読解演習 ②字のない葉書 ②辞書に描かれたもの ②文章読解演習	○短歌に詠まれた情景や心情を想像し、短歌を音読して読み味わう。 ○自分の知識や経験を交えて、手紙・言葉への考えを広くする。 ○詩を鑑賞し、自分のものの見方を広くする。 ○修辞法の総復習を行う。 ○類義語・対義語を体系的に学習し、読解に必要な語彙力の向上を図る。 ○問題集を用いて詩の読解演習を行う。 ○人物の言葉遣いや語調・行動や態度から登場人物の心情を読み取るとともに、人物像を捉える。 ○敬語を体系的に学習し、読解に必要な語彙力の向上を図る。 ○問題集を用いて随筆の読解演習を行う。	*類義語・対義語、敬語に関する小テストを実施し、語彙を豊かにする。
2	③ハトはなぜ首を振って歩くのか ③黄金の扇風機 ③サハラ砂漠の茶会 ③卒業ホームラン ③文章読解演習 ④枕草子 ④平家物語 ④漢詩 ④文章読解演習	○文章と図表を結びつけて読み、図表の役割と効果を考える。 ○接続語や指示語を理解し、段落の役割や段落同士の関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。 ○具体と抽象、意見と根拠などに注目して、筆者の意見を読み取る。 ○抽象的な概念を表す語彙を体系的に学習し、読解に必要な語彙力の向上を図る。 ○場面の展開を捉え、登場人物の心情の変化に着目して、作品を読み深める。 ○問題集を用いて説明文の読解演習を行う。 ○伝統的な言語文化に触れ、筆者のものの見方、考え方を学ぶ。 ○七五調、対句などの表現の特徴を意識しながら、描かれた状況や心情を読み取り、武士の価値観や生き方について考える。 ○漢詩特有のリズムを味わい、古典に親しむ。 ○現代語訳や脚注を手掛かりにして、漢詩に描かれている情景や筆者の心情を捉える。 ○多義的な意味を表す語彙を体系的に学習し、読解に必要な語彙力の向上を図る。 ○問題集を用いて古典の読解演習を行う。	*抽象的な概念を表す語彙、多義的な意味を表す語彙に関する小テストを実施し、語彙を豊かにする。
3	⑤走れメロス ⑤「正しい」言葉は信じられるか ⑤文章読解演習	○場面の展開を捉え、登場人物の心情の変化に着目して、作品を読み深める。 ○語句の使い方、表現、文体に注意し、人物像を考える。 ○具体と抽象に注目して、筆者の考えを捉える。 ○同音異義語を体系的に学習し、語彙力の向上を図る。 ○問題集を用いて小説の読解演習を行う。	*同音異義語に関する小テストを実施し、語彙を豊かにする。